

科目名		開講時期	開講学年	必 / 選	2 単位 (30h)
リプロダクティブヘルス看護学実習		通年	3		
担当教員名	電子メール		オフィスアワー		
※湯舟邦子、黒崎治美	kuniko.yubune@tohto.ac.jp				
授業の概要					
周産期にある女性や家族の視点からその特性と看護の実際を学ぶ。妊娠・分娩・産褥各期と新生児を看護の対象としてウェルネスの視点から対象理解するとともに日々変化する心身の状況を踏まえながらその家族や生殖家族支援の実際を学ぶ。					
キーワード	到達目標				
	1. 妊娠・分娩・産褥・新生児各期にある対象の実際をウェルネス視点からマタニティ診断の枠組みを用いて看護過程を展開できる。 2. 産褥期にある対象の実際から、生殖器や身体的復古、母乳支援を中心としたセルフケアへの支援と保健指導を実践できる。 3. 早期新生児期にある対象の胎外生活の適応や生理的变化の実際から健康維持の維持と養護への看護を実践できる。 4. 母子相互作用と愛着形成を促進するための看護を学ぶ。 5. 周産期における正常を逸脱した対象の看護の実際を学ぶ。 6. 自らの自己の父性性、母性性について考えを述べられる。 7. ヒューマンケアの基盤に基づいて生命や人に対する尊厳、プライバシーの保護、自己決定希求の尊重と権利の援護など、倫理的観点から行動できる。				

授業の計画・形式					
第1週	入院中の母子の受け持ちをし援助する。 外来受診、入院中の妊婦の援助をする。				
第2週	入院中の母子の受け持ちをし援助する。 外来受診、入院中の妊婦の援助をする。				
教科書、参考書					
教科書	オリエンテーション時に指示する。				
参考書	オリエンテーション時に指示する。				
先修要件					
リプロダクティブヘルス看護学概論および援助論を学んでいること。					
成績評価					
本試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・演習）	その他	合計
%	%	%	%	%	100%
担当教員からのメッセージ					
入院中の母子および妊婦、産婦の援助を通してウェルネスの視点を持った援助を学んでほしい。 生命誕生の時期に立ち会うことにより命の尊さを再認識しヒューマンケアの重要性を考えてほしい。					